

法遍寺 から大切な 皆様へ

2018年9月1日

日蓮正宗 年間方針

行動の年

法遍寺・天晴寺支部活動方針

人材育成

勇猛果敢の折伏

年間実践テーマ

① 勤行・唱題で折伏達成

功德の源泉

② みんなで声かけ御講参詣

罪障消滅と

折伏成就

③ 支部総登山で育成推進

心身浄化と

功德无量

〒488-0881

愛知県尾張旭市城山町三ツ池6075-1

(TEL:0561-54-9226)

相談無料



2018年8月15日 立岡金会の様子



慧光山 法遍寺(えこうざん ほうへんじ)について 住職 近藤道正

法遍寺は静岡県富士宮市にある「多宝富士大日蓮華山大石寺」を総本山とする日蓮正宗の寺院です。日蓮大聖人様の正しき信仰を人々に弘め、ここ愛知地域の全ての人々が真の幸せをつかむ為に、総本山第67世日顕上人が開基となつて、昭和57年6月18日法遍院として設立され、平成20年12月23日には改築され、法遍寺となりました。日蓮大聖人の出世の本懐である三大秘法の大御本尊に帰依(きえ)し、破邪顕正の布教活動をさせていただいております。

① 講中のみなさまへ

大聖人は崇峻天皇御書に、「人身は受けがたし、爪の上の土。人身は持ちがたし、草の上の露」(御書1173頁)と、人として生まれてくることの希有なるを爪の上の砂粒に、また人生の時間の速さを刹那に消える草露に譬えられています。妙法との出会いはその希有な人生のうえに具わっている果報であることを忘れてはなりません。「なまじ人間に生まれてきたばかりに」などと言う人こそ、人としての尊さと有り難さを知らなければなりません。この一点を忘却しなければ、人としての原点を踏み外すことはなく前に進んでいけるのです。自らの尊貴を知ることは、同時に他人を大切にできる人です。人として生まれた感謝の原点から折伏はあると思います。させて頂く信心をしましょう。

② 創価学会に籍を置くみなさまへ

創価学会は、日蓮正宗を「日顕宗」と呼び、会員を欺いています。ではなぜ、日蓮正宗を「日顕宗」と呼ぶかといえば、①宗門の歴史・教義・信仰のすべてを否定し、会員の目を覆い隠すため ②宗門が日顕上人を教祖のように崇める集団に変貌したと会員に思わせるため ③日顕上人が創価学会を破門にした張本人であると思わせ、会員の憎悪を集中させるため ④会員に日蓮正宗への恋慕の心を捨てさせるため、などがあげられます。しかし日蓮正宗は第二祖日興上人以来の血脈相承のうえに、日蓮大聖人の教えを、現在まで正しく伝承する唯一の教団であります。日蓮正宗を貶める創価学会こそ、大聖人の仏法を破壊し、広宣流布の前進を阻む卑劣な謗法集団であることを知ってください。

③ 正しい宗教に関心のある皆様へ

世の中には不幸や災害があると、それが特別な悪霊によつてもたらされたと信じる人があります。仏法では因果律のもとに一切の人々の救済を説きます。つまり過去の行為が因となつて報い(結果)をもたらす、悪い因をつくれれば必ず悪い果報がある、また善因には善果が具わると説きます。世間には到底説明のできない現象はたくさんあり、凡夫の私たちにはそれらのすべてを説明することは不可能です。この不思議な現象を悪用する低級な宗教や思想に惑わされることは、返つて自らの悪業を積むこととなります。日蓮正宗は、宇宙法界を貫く成仏の一法である大御本尊を信仰する宗旨です。自分自身はもとより他人や故人の罪障を消滅させ、真実の幸福境界を築く信仰がここにあることを知って下さい。